現　況

1963. 11

大韓貿易振興公社

目　次

1. 公社沿革 ―――― 3

2. 組織機構與定員表 ―――― 5

3. 63年度主要事業計劃 ―――― 7

4. 主要事業實績 ―――― 13

5. 63年度豫算規模 ―――― 17

6. 64年度豫算案 ―――― 19

1. 公社沿革

1962. 4. 24　大韓貿易振興公社法公布(法律第1059號)

1962. 4. 25　當社設立委員　任命

1962. 5. 7　大韓貿易振興公社法施行令公布(閣令第734號)

1962. 5. 8　商工部長官으로부터公社定款認可

1962. 5. 30　資本金2億원中　第1回拂入金1億원拂入(第2回拂込　9千万원, 1963. 5. 3)

1962. 6. 2　公社任員任命

社　長　　1名

理　事　　4名

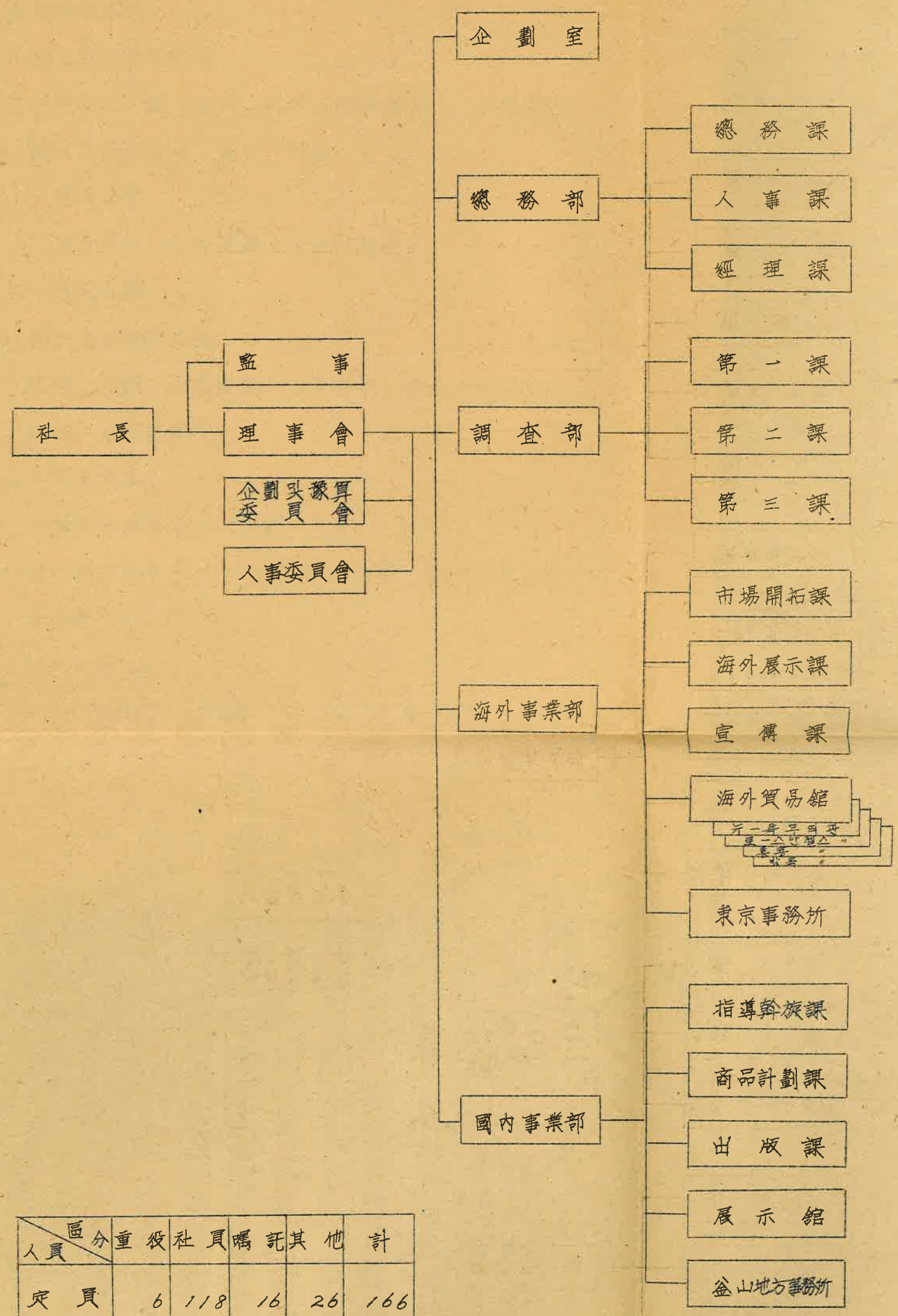
監　事　　1名

1962. 6. 5　公社設立登記 및 公告

1962. 6. 20　設立委員會職務終了로　同事務를　公社社長에게　引継하고　解散

1962. 6 21　開業式

2. 組織機構與定員表



區分 / 人員	重役	社員	囑託	其他	計
定員	6	118	16	26	166

3. 63年度主要事業計劃

가. 調査事業部門

(1) 國內調査事業

(가) 輸出貿易實態調査

(나) 生産品의 輸出性에 関한 概括調査 (100個品目)

(다) 輸出貿易與件에 関한 調査

1). 貿易政策

2). 通商條件 및 有関諸法令分析整理

3). 貿易金融

(라) 輸出適格商品調査

規格、種類、生産實績、生産過程、價格、流通經路、

隘路、生産原價

(2) 海外調査事業

(가) 市場開拓調査員의 派遣 (日本)

(나) 海外現地通信員의 委囑調査 (台湾、濠洲、白耳義、

比律賓、加拿陀)

(다) 調査內容

1). 海外市場의 地域別、商品別、輸入性調査

地域 : 10個國

豫備調査 60個品目

細部調査 31 〃

2). 海外競爭商品의 實態調査

3). 國別貿易與件에 關한 全般的인 調査

(라). 海外有關機關과의 連繫、接觸、各國의 經濟動向 調査 및 資料蒐集을 爲한 海外踏査

(3) 教育研究事業

(가) 調査結果의 發表 및 報告

(나) 図書資料室運營

나. 海外事業部門

(1) 貿易館運營事業

(가) 輸出適格品 宣傳紹介、見本配布

(나) 海外競爭類似商品 및 各種資料蒐集

(다) 市場開拓 및 市場性擴大를 爲한 諸般現地活動

(라) 海外有關機關 및 業者와의 提携

(2) 市場開拓事業

(가) 去來網確保를 爲한 海外代理店의 設置

(나) 海外輸出業者에 對한 去來斡旋

(다) 國際會議參席

(라) 海外市場開拓을 爲한 現地踏査

(마) 海外駐在 市場開拓員派遣

(3) 海外展示事業

(가) 國際博覽會參加 및 參加斡旋

(나) 海外貿易館 商品展示

(다) 海外公館 展示商品蒐集発送

(4) 宣傳事業

(가) 輸出商品 카다로그 製作配布

(나) 輸出商品 및 産業宣傳映画製作

(다) 輸出商品宣傳 COLOR SLIDE 製作配布

(라) 宣傳刊行物 製作配布 (카렌다、뜨어、포스타 等 包含)

(마) 宣傳刊行物 蒐集配布

(바) 라디오、TV、애드바룬、録音테푸、懸賞論文、新聞 其他 刊行物을 通한 P.R

(사) 海外에 Souvenir 現物宣傳

다. 國內事業部門

(1) 指導斡旋事業

(가) 輸出上의 隘路点檢討 및 關係機關에 對한 建議 輸出擴大를 爲한 輸出商社 및 生産業者와의 提携

(나) 國內商社 및 在外駐在店으로부터 오는 去來斡旋依頼에 對한 處理

(다) 海外市場紹介를 爲한 講習會 및 講座의 開催

(라) 貿易實務講座 開催

(마) 海外通商使節團의 組織 및 引率

(바) 海外類似機關視察

(사) "輸出案內"의 發行

(아) 地方事務所의 設置 및 運營 (釜山)

(2) 商品計劃事業

(가) 輸出適格商品의 品質、包裝、意匠、디자인等 技術의 硏究指導

(나) 디자인展 包裝展의 開催

(다) 外國人技術者를 招聘하여 技術指導

(3) 出版事業

(가) "貿易振興" (隔月刊) 發行 1回 2,500部

(나) "KOREA TRADE" (隔月刊) 發刊 1回 2,500部

(다) KOTRA DIARY 発行 5,000部

(라) "KOREA TRADE" SPECIAL EDITION (1回) 3,000部

(마) 不定期刊行物 (6回) 発行 1回 2,000部

(바) 年次報告書発行 1,000部

(4) 商品展示事業

(가) 展示館의 運營

1) 輸出適格商品과 外國競爭商品의 比較展示

2) 各種資料의 備置 提供

(나) 國內展示館用 展示商品蒐集

4. 主要事業實績

(自62年7月 至63年10月)

事業名	62年度	63年度	合計	備考
1. 去來成立		$9,067.293.87 (167件)		누옥 3,821.391.60 라성 3,135,047.20 홍콩 253,924.40 방콕 1,563,302.11 본사 293,627.86 총계 9,067,293.87
2. 去來斡旋	585件	1,613件	2,198件	
3. 我國商品 海外展示	4,028点	13,290点	17,318点	13個國
4. 外國競爭商品 國內展示	460種 3,031点	317種 632点	777種 3,663点	
5. 出版및宣傳	總 15,500部	總 47,300部	總 62,800部	
"무역진흥"	1回 2,000部	6回 15,000部	7回 17,000部	主로 國內配布
"KOREA TRADE"	1回 2,000部	5回 12,500部	6回 14,500部	主로 海外配布
"輸出案內"	13回 6,500部	60回 36,000部	73回 42,500部	國內配布
宣傳刊行物製作		2回 10,000部	2回 10,000部	海外配布
商品 Catalogue 蒐集및配布		109種 5,869部	109種 5,869部	〃
宣傳映画製作		1篇 (寫本5卷)	1篇	KTC에 発送
懸賞論文募集		1回	1回	

事業名	62年度	63年度	合計	備考
6 國際博覽會 參加		2個處參加完了 1個處 準備	3個處	1. 시카고 2 西伯林 3 뉴욕
7. 輸出振興 懇談會	17個品目 22回	19個品目 20回	36個品目 42回	
8 業界陳情書 處理	3回	14回	17回	
9. 商品改善研究	包裝, 意匠, 品質	仝 上	仝 左	
10 包裝展示會	1回 1,215点	1回 2,005点	2回	
11. 意匠展示會		準備中	1回	
12 各種調査				
貿易政策 制度調査	6種 27件	6種 47件	12種 74件	
特定品目의 海外市場性調査	4個品目	27個品目	31個品目	1. 駐日調査員 1名派遣 2 通信員 5名任命
商品別地域 別輸出調査	43個品目	87個品目	130個品目	
統計調査	輸出去來 週報 月報 자 58件	60件	118件	
輸出不振原因 調査및對策		8回	8回	每月施行中임
調査資料発表	5件	8件	13件	

調査結果發表

62年度分

1. 商品別. 地域別 輸出性에 對한 調査
2. 輸出物資 檢査制度 現況
3. 商品別 地域別 輸出性에對한 概括調査 43個品目
4. 美國의 品目別 國別 輸入統計 및 関税率
5. 韓國의 輸出 및 輸出可能商品의 海外市場調査
   (日本篇)

63年度分

1. 商品別 地域別. 輸出性에對한 概括調査 87個品目
2. 各國의 貿易管理制度
3. FY63 輸出資源調査資料(第2次産業) 44個品目
4. 〃 〃 (〃) 102 〃
5. 韓國輸出 및輸出可能商品의 海外市場性調査,
   카나다, 濠洲篇
6. 〃 〃 日本篇
7. 〃 〃 中國. 泰國. 香港篇
8. 日本의 輸出金融制度

5. 63年度豫算規模

1. 收　益	38,809,300원
가. 雜收入	3,037,700
나. 國庫補助金	35,771,600
2. 費　用	182,852,200
가. 調査事業	13,203,200
(1) 國內調査事業	750,800
(2) 海外調査事業	3,994,500
(3) 教育硏究事業	205,600
(4) 人　件　費	8,252,300
나. 海外事業	113,596,600
(1) 市場開拓事業	2,896,600
(2) 貿易館運營事業	19,750,500
(3) 宣傳事業	1,754,800
(4) 國際博覽會參加事業	71,543,300
(5) 人　件　費	17,651,400
다. 國內事業	17,436,000

(1) 指導斡旋事業費	1,684,300원
(2) 商品計劃事業	1,209,800
(3) 出版事業	6,707,200
(4) 商品展示事業	1,664,800
(5) 人 件 費	6,169,900
라 一般管理	26,616,400
(1) 人 件 費	12,516,100
(2) 物 件 費	1,425,400
(3) 其他經費	12,674,900
마 豫 備 費	12,000,000
3. 投 資	2,305,200

6. 64年度豫算(案)

款項別 ＼ 年度別	1963年度豫算	1964年度豫測豫算	比較增(△)減	對比%
1. 收益	38,809,300	60,540,800	21,731,500	155.9
가. 雜收益	3,037,600	3,075,100	37,500	101.2
나. 國庫補助	35,771,700	57,465,700	21,694,000	160.6
2. 費用	182,852,300	186,989,500	4,137,200	102.3
가. 調査事業費	13,203,200	13,609,300	406,100	103.0
나. 海外事業費	42,053,400	56,500,500	14,447,100	134.3
다. 博覽會參加事業費	71,543,300	57,465,700	△13,077,600	80.3
라. 國內事業費	17,436,000	23,109,100	5,673,100	132.5
마. 一般管理費	26,616,400	30,304,900	3,688,500	113.8
바. 豫備費	12,000,000	6,000,000	△6,000,000	50.0
3. 投資	2,305,200	2,799,600	494,400	121.4

外貨所要

	64年度(案)	63年度豫算	增減
1. 海外貿易館	$ 220.000	$ 190.000	$ 30.000
2. 汽号博覽會	$ 437.000	$ 511.000	△ $ 74.000
3. 其他事業	$ 136.000	$ 58.000	$ 78.000
計	$ 793.000	$ 759.000	$ 34.000